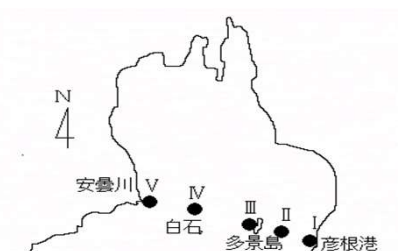


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和8年5月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和8年5月11日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 …… 5地点の平均値

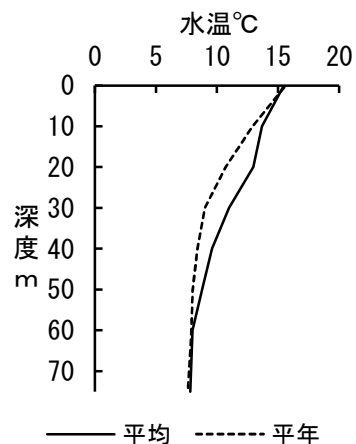
平年値 …… 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2016年～2025年(平成28年～令和7年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 5月平均値 5.1m 平年値 5.2m

2. 湖水温 (°C)

深度 (m)	5月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	15.4	15.5	-0.1
10	13.7	12.9	+0.8
20	13.0	10.7	+2.3
30	11.0	9.0	+2.0
40	9.6	8.4	+1.2
50	8.8	8.0	+0.8
60	8.0	7.9	+0.1
75	7.8	7.6	+0.2



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
4月下旬	14.2	12.7	+1.5
5月上旬	15.5	14.3	+1.2
5月中旬	18.1	15.5	+2.6

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	5月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	31.0	21.5	+9.5
10~20	5.2	6.2	-1.0
20~40	1.6	2.1	-0.5
40~75	0.2	0.8	-0.6

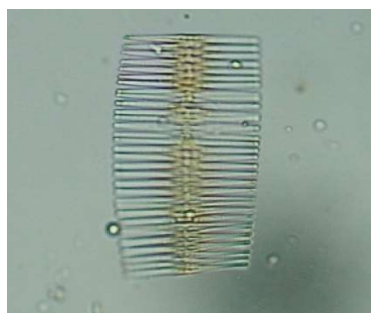
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、地点Iでは*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)、地点IVでは*Mougeotia sp.*(ヒザオリ:緑藻)の細胞数が最も多かった。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生の個体数が最も多かった。



Fragilaria crotonensis



Mougeotia sp.



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	5月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	11.9	119.7	11.1	111.8	0.8	(+7.9)
10	11.6	112.9	11.3	108.1	0.3	(+4.8)
20	11.2	106.0	10.8	97.8	0.4	(+8.2)
30	10.9	99.1	10.6	93.1	0.3	(+6.0)
75	9.9	83.7	9.2	77.8	0.7	(+5.9)